

国内大手映画興行会社3社が、再び結集

# 『大阪ステーションシティシネマ』

2011年春オープンの 大阪ステーションシティに出店！！



松竹株式会社（代表取締役社長 迫本淳一）とTOHOシネマズ株式会社（代表取締役社長 中川 敬）、株式会社ティ・ジョイ（代表取締役社長 岡田裕介）は、2011年春に開業予定の、JR大阪駅再開発ビルに出店するシネマコンプレックスの名称を、『大阪ステーションシティシネマ』とすることに決定いたしました。

本シネコンは、「大阪ステーションシティ」に建設中の、ノースゲートビルディング11階～12階部分に出店いたします。大阪市では最多、関西最大級の12スクリーンを有し、現在、開業に向けての準備を進めています。

3社共同運営のシネコンとしては、「札幌シネマフロンティア」（2003年オープン）に続く出店となります。札幌は、相互協力のもと運営にあたり、全国屈指の動員を誇るシネコンとなりました。

今回、周辺の駅を含めると1日約250万人の乗降客を誇る大阪駅においても、札幌で培ったターミナル駅直結シネコンの運営ノウハウを最大限に活用するのはもちろん、再び3社の運営力を集結し、国内動員No. 1のシネコンを目指します。

「大阪ステーションシティ」は、JR西日本グループが開発する、JR大阪駅を中心とした新たなエリアの名称です。

大きく生まれ変わる西日本最大のターミナル・大阪駅と、人々を迎え入れるゲートのように建つ2つのビル、それらをつなぐドームは、大阪の新たなシンボルとなります。

ビルには、シネコンのほか、百貨店、専門店、飲食店、フィットネスクラブ、オフィス、ホテルといった様々な施設が入居予定で、新しい「まち」の誕生に向けて、目下、開発が進められています。

本シネコンは、名称に「まち」の名前を取り入れました。大阪駅を含めた大阪ステーションシティとの相乗効果により、大阪はもとより、関西圏のすべてのお客様に覚えていただくことをイメージしています。「駅」「まち」の象徴的な存在として、「大阪ステーションシティシネマ」は、大阪駅にお越しになる大勢のお客様の目印でありたいと考えています。

また、ロゴデザインには、「ステーション」「シネマ」という言葉が醸すモダニズムへの郷愁と愛されるキャラクター性を反映させました。

大阪の「大」を★で表現し、大阪駅のエンターテイメントの拠点であることをアピールするとともに、文字のデザインのモチーフでは、スポットライトの光の軌跡をイメージしています。

2011年春、大阪駅直結の最新シネコンに、ぜひ、ご期待下さい。

#### 施設概要

---

劇場名 : 大阪ステーションシティシネマ  
開業日 : 2011年春  
所在地 : 大阪府大阪市北区梅田3丁目  
シネコン経営 : 松竹株式会社、TOHOシネマズ株式会社、株式会社ティ・ジョイ  
スクリーン数 : 12  
座席数 : 約2,500席

大阪ステーションシティ 公式ウェブサイト <http://www.2011osaka.com/>

#### 本件に関するお問い合わせ先

---

松竹株式会社 映画興行部

榎村 (かしむら) [kashimura@shochiku.co.jp](mailto:kashimura@shochiku.co.jp)

TEL:03-5550-1604

江 (こう) [ko@shochiku.co.jp](mailto:ko@shochiku.co.jp)

TEL:06-6537-1726

